

川柳二十六年九月

「染める」「深い」

頬染めて 恥ずかしがった 頃もあり

西沢香子

これまでの 人生語る 深いシワ

西沢香子

深い溝 "ごめん" と言えば いいものを

西沢香子

頬染めて 話した昔も あったっけ

山本昭子

軽いうつ 気分は深い 海の底

山本昭子

思慮深い 人は控えめ 無口です

山本昭子

刈りし跡 朝日が染める 感謝して

森本うち

髪染めも 古希を最後と 思いしが

森本うち

講演で 深い眠りの 舟をこぐ

森本うち

人生の 深い話に 涙する

森本うち

白髪を 染めずにしても 美しい

伊藤直人

大空を 真っ赤に染めて 日が沈む

伊藤直人

ゲリウ雨 土砂災害の 傷深い

伊藤直人

やめようか 迷いに迷う 深い酒

握 輝規

寒い時 誰もが好む 深い風呂

握 輝規

薄い髪 染める理容師 汗が出る

握 輝規